豊川小学校が令和元年度 学校安全優良校に！

豊川小学校は、学校・保護者・地域が連携し、安全教育に関する取り組みを行っています。４月には、親子で通学路を確認したり、9月には、地震が起こったときの身の守り方を学んだりしました。子ども自身が危険を予知し、回避する力が身につくようにと考えています。

南部中学校がソニー子ども科学教育プログラムで最優秀校に！

「どうしても解き明かしたい・達成したい」という強い思いを生み出すことで、生徒それぞれが独自の実験や観察方法を考え、試し、法則を見つけ出します。自分の手で確かめた実験結果をもちより話し合うことで、「できた」「わかった」という感動が生まれます。子どもの発想力の高さと、主体的に話し合う姿が評価されました。

教育相談機関

相談内容	相談機関	相談対象者	相談対応者	電　話	時　間
問題行動 いじめ・不登校等	スクールカウンセラー、 ハートフル相談員	保護者・ 子ども・教師	臨床心理士 心理カウンセラー	各小中学校	
不登校 発達の悩み等	「ゆずりは」 勤労福祉会館 音羽庁舎分室 小坂井生涯学習会館	保護者・ 子ども・教師	臨床心理士	88−8033	予約受付 月～金　9:00～17:00
子どもの生活・行動・ 心身の悩み・いじめ・ ひきこもり等	家庭児童相談室	保護者・子ども	専門相談員	84−1329	月～金 10:00～17:00
	少年愛護センター	保護者・ 子ども・若者	専門相談員 心理カウンセラー	84−5756	月～金 10:00～17:00
いじめ相談窓口	豊川市教育委員会	保護者・子ども	指導主事	88−8041	月～金　9:00～17:00
学習相談	豊川市教育委員会	子ども・保護者	指導主事	88−8033	月～金　9:00～17:00
就学相談	豊川市教育委員会	子ども・保護者	就学指導専門員	88−8033	月～金　9:00～17:00
発達の悩み 障害の相談	たんぽぽ相談 豊川特別支援学校	保護者・子ども	豊川特別支援 学校教諭	88−2553	月～金　9:00～17:00
虐待・いじめ 不登校等	東三河児童・障害者 相談センター	保護者・子ども	児童福祉司	(0532) 54−6465	月～金　9:00～17:00
いじめ （こころの電話）	子どもSOS ほっとライン24	保護者・子ども	臨床心理士等	(052) 261−9671 (0120) 0−78310	毎日（24時間対応）

4月7日 豊川市で聖火リレー

56年ぶりに開かれる東京オリンピック。災害等からの復興に努力している日本の姿と、支援いただいた国々への感謝を世界に届ける復興五輪という意味もあります。日本をはじめとする世界の平和と明るい未来への懸け橋となる祭典にふれる意義は大きいものです。

※令和2年4月7日（火）市内小中学校の一斉休業日

令和2年度の「学校の日」を各学校で、1学期と2学期に1回ずつ実施します。

※日程等は「広報とよかわ」「豊川市ホームページ」でお知らせします。

豊川市教育委員会　学校教育課（音羽庁舎内）
〒441-0292　豊川市赤坂町松本250番地　Tel.0533-88-8033　Fax.0533-88-8037

令和２年度 豊川の学校教育

ともに学び、生きる力を育みます

家庭や地域と連携し、子どもたちの心を耕し、
いのち　学校　地域　を愛する心を育てていきます。
特色ある活動を紹介します。

生き物の飼育

ヤギのココちゃん、ナナちゃん、大きくなってね。

地域のお祭り

地域の方々からの熱い指導を受けて、本番に臨みます。

花の栽培

バラ農家さんから教えてもらった方法で育てていくよ。

縦割り活動

学年縦割りで、体育大会演技や合唱を行い、絆を深めています。

創立記念行事

学校の歴史や地域の文化遺産を知りました。地域の方の演奏とともに全校生徒で歌った校歌は、心に残りました。

伝統文化の継承

台詞回しも見えを切った顔も、地域の方からの指導を受け、まるで本物の歌舞伎役者。

地域の方と芋煮会

みんなが持ち寄った野菜を地域の方が煮込み、できあがった芋煮の味は最高。

スポーツを通して、たくましい心とからだを育てます

小中学校体育的行事

令和２年度 小学校の予定

- ◉サッカー(男子)……6月20日(土)
- ◉バスケット(女子)……6月20日(土)
- ◉陸上競技(男女)……10月10日(土)

令和２年度 中学校の予定

- ◉市内総合体育大会…7月 4日(土)・5日(日)
  7月 11日(土)・12日(日)
- ◉市内駅伝大会……9月 26日(土)

文化的な活動を通して、豊かな感性を育みます

令和2年度 文化行事の予定

開催日	場　所	行事名	内　容	参加者
7月31日(金)	文化会館	小中学校音楽会	小中学校をそれぞれ2グループに分け、小学校では隔年で合唱を、中学校では隔年で吹奏楽を発表します。	小中学生
8月19日(水)	文化会館	中学生の主張	各中学校の代表が発表します。	中学生
10月10日(土)	勤労福祉会館	英語スピーチコンテスト	暗唱とスピーチの部があります。	中学生
10月17日(土)・18日(日)	文化会館	書　写　展	小学校1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆の代表作品が展示されます。	小中学生
10月24日(土)・25日(日)	赤塚山公園「ぎょぎょランド」	子ども造形広場	中学校区ごと、子どもたちの個性豊かな造形作品が展示されます。	小中学生
		若草の子ら展	特別支援学級や豊川特別支援学校の子どもたちの作品が展示されます。	
		科学にチャレンジ展	小中学生の理科・自由研究の代表作品が展示されます。	
2月18日(木)～21日(日)	桜ヶ丘ミュージアム	子ども美術展	絵画・版画など、小中学生のさまざまな美術作品が展示されます。	小中学生

令和元年度 研究発表校の取り組みと成果

かかわりの中で学びを深める子どもたち
「教科書」と「＋ONE」で国語の授業づくり

御油小学校

「みんなで力をつけて、毎日の授業を充実したい」という先生の思いから、指導方法に「ひと工夫（+ONE）」加えながら国語科の授業づくりに取り組みました。

◆国語で育てる「言葉の力」

学年ごとに身につけさせたい「言葉の力」があります。これまでの授業は、教材文そのものの解釈や登場人物の気持ちを読み取る授業でしたが、「言葉の力」の系統性を意識した授業づくりを行いました。

◆「教科書」と「+ONE」を合言葉に

教科書に線を引いたり拡大したり、毎日行う授業だからこそ無理なく行える「+ONE」をそれぞれの先生が行い、うまくいった方法をみんなで共有しました。研究発表会に参加した他校の先生からも多くの「+ONE」をいただき、そのアイデアは日ごとに増えています。その中から、先生一人一人が子どもの姿を思い描きながら選択したり、アレンジしたりしています。

◆成果

友達とのかかわりを通して、自分の考えを見直したり、新しい視点で考えを深めたりする子が増えてきました。

誰とでも主体的にコミュニケーションをとろうとする子の育成
～一西小から世界へ Hello!～

一宮西部小学校

◆誰とでもコミュニケーションをとろう

特別の教科道徳や総合的な学習の時間に国際理解教育を推進しました。グローバル集会やパソコンのビデオ通話機能による交流などで外国の人や文化に直接触れる機会を多く設定したり、日本の文化を発信したりしました。コミュニケーション能力の土台づくりとしてアドジャントーク（お題をもとにした会話練習）を全校で実施しました。役割分担を決めて「聞く」力を高めたり、学んだ英語を使ってリアクションしたりすることを心がけました。

◆主体的にコミュニケーションをとろう

外国語の授業では①Greeting（出会い）、②Warm up（準備）、③Practice（練習）、④Activity（活用）、⑤Look back（振り返り）という流れを作ることで、子どもたちが抵抗なく外国語に親しめるようにしました。また、英語の言い方やフレーズに自然と慣れ親しむことができるように、絵本や歌を活用しました。

◆成果

集会後に「もっと外国のことを知り、外国の人と触れ合いたい」という声が聞かれたり、授業のリアクションで思わず英語が出たりと、コミュニケーション能力の素地が育ってきました。

思いを伝え合い、学びを深める赤っ子
～生活科・総合的な学習の学びを軸として～

赤坂小学校

子どもたちが主体的に学習に取り組む姿をめざして研究に取り組みました。「主体的に取り組む姿」とはすなわち、「話したい」「聞きたい」「やってみたい」…という子供たちの「○○したい」という思いが満ち溢れている姿です。私たちは、このような思いを大切にする『生活科マインド』をもって日々の授業を実践しました。

◆基礎・基本を育てる

学級づくりを土台とし、「おはなしタイム」や日記指導などを通して「話すスキル」「聞くスキル」「書くスキル」を育てました。

◆「教師支援」を重視する

魅力ある教材・教具を取り入れ、自分の考えを友達と共有することで、生活に生かしていきたいという思いをもつことができました。また、子どもたちの思いや願いに合わせて単元構想を変更することで、教材に対する思いが深まった振り返りが見られました。

◆成果

子どもたちが、魅力ある教材に出会ったり、体験活動をしたりすることによって、疑問や発見などを「伝えたい」という気持ちをもつようになりました。この気持ちを教師が後押しし、友達と交流することで喜びを実感し、自分の思いを言葉で伝える姿勢が育ちました。

自ら学び、考え、輝く東中生
～仲間と共感的にかかわり合い、学びを深めることを通して～

東部中学校

「学びの土壌」を生かして、仲間と共感的にかかわり合いながら、よりよい解決を図る姿をめざして、各教科の授業を中心に研究を進めてきました。

◆「学びの土壌」を豊かにする

構成的グループエンカウンターを年間計画に位置づけたり、1分間スピーチを定期的に取り入れたりしました。

◆かかわり合い、学びを深める授業をつくる

生徒がかかわり合い、学びを深める授業にするため、「もつ」「比較する」「見つめ直す」の3つの段階を意識して授業を考えました。また、どの教科でも共通で行うことを学習規律と位置づけ、全職員が意識して取り組むようにしました。

◆成果

「学びの土壌」を豊かにしたことで、安心して自分の考えを表現することができる人間関係を築くことができました。また、学習規律が確立されたことにより、落ち着いた雰囲気の中で、生徒自身が活動する場面の多い授業が日常的に展開されるようになりました。

令和2年度 研究発表校の紹介

豊川市研究発表会 10月22日(木)

- **平尾小学校**：「たいわ」で深める授業づくり ～自分の考えを伝え、友だちの考えから学ぶことのできる子の育成～
- **萩小学校**：自ら考え、本気で取り組む萩小っ子 ～どんな自分になりたいの？特別活動の考え方を生かして～
- **小坂井東小学校**：自己をみつめ、他者と認め合う、小東っ子の育成 ～対話を中心とした道徳科の授業を通して～
- **一宮中学校**：自己肯定感を高めることができる生徒の育成 ～「伝えたい」「聴きたい」が広がる道徳授業の実践を通して～